



# のぞみ 希 望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/> TEL771-0649



## 愛川宿泊体験学習

学校長 村上 裕子

むしむしとした日が続いています。この時期の雨は特に梅の実がつく時期に降る雨で「梅雨」と呼ばれています。昨年植樹した杉田梅の実はまだ生りませんが、しっかり枝葉が伸びているのがわかります。いつか梅の実がつくのが楽しみです。

さて、6月20日（火）から21日（水）にかけて、5年生は愛川で宿泊体験学習を行いました。圏央道が開通したので「神奈川県立愛川ふれあいの村」までは、1時間半ほどで着きます。近くには宮ヶ瀬ダムもあり、とても自然が豊かなところです。

愛川宿泊体験学習のスローガンは「チャレンジ！ 杉田！」でした。このスローガンには、次のような子どもたちの思いや願いが入っています。杉田の「す」はすばやく行動して、杉田の「ぎ」は協力し、杉田の「た」は楽しい愛川体験学習にしようです。

一日目の最初に訪れた「相模川ふれあい科学館」。このときは自分の興味・関心の方が優先して、スローガンのような姿はあまり見られませんでした。バスの乗降、グループ活動、入村式、部屋への入室等々の活動を重ねると、まずリーダーが自覚をもって声をかけるようになりました。自分がよいことをしていると判断すれば、積極的に活動します。野外炊事では自分たちで役割を分担し、手際よくおいしいカレーを作りました。キャンプファイヤーでも実行委員が中心になり、火を囲んでみんなで盛り上がりました。集団で活動することを通して、規律を守ろうとする態度や主体的に取り組もうとする意欲をもつ姿に変わっていきました。

二日目に訪れた宮ヶ瀬ダムの観光奔流は、子どもたちにぜひ「見せたい」というより「感じてほしい」と思う人気のスポットです。高さ156mの堤の中ほどにある二つの放水口から1秒間に30m<sup>3</sup>の水を6分間放水します。朝からあいにくの雨で、退村式が終わるころには本格的に降り始めていました。雨が降ると傘やレインコートの扱いだけで時間がかかりますが、子どもたちはすばやく行動していました。ダムの奔流時間より早く着けたので、迫力のある奔流をそびえたつ堤の正面で水が落ちる風圧まで体感しながら見る事ができました。水が落下するときの地響きのような音とまっ白な水しぶき等から、水がもつエネルギーの大きさを実感した子どもも多かったことでしょう。お天気がよければもっとよかったのにと少し思いながら、雨とも水しぶきともわからず濡れていました。子どもたちもびしょびしょになりながらもがんばってバスまで辿り着きました。運転手さんが少しでも乾くようにと暖房を入れてくださったのでほっとしました。

天候の面ではご心配をおかけしましたが、5年生と行動を共にして、スローガンにあるように「すばやく行動しようとする姿」「グループで協力しようとする姿」そして何より「自分たちで楽しもうとする姿」をたくさん見ることができた一泊二日でした。行事を通して子どもが成長すると言われますが、愛川宿泊体験学習を通して子どもの育ちをみとり、さらにこれから育てていきたいことも考えました。体験学習で身に着けたことは今後の学校生活の中でも生かしていくようにします。